

平成28年12月19日

各 位

株式会社 北海道銀行

士別市「ICT営農支援システム研究プロジェクト」への参画による地方創生の取り組みについて

北海道銀行（頭取 笹原晶博）は、士別市（市長 牧野勇司）との間で、平成28年7月に締結した「地方創生に関する包括連携協定」に基づき、士別市「ICT営農支援システム研究プロジェクト」に参画することといたしましたので、下記のとおりお知らせします。

トヨタ自動車株式会社バイオ・緑化研究所様（以下、トヨタ自動車株式会社様）が北海道内で実証事業を行うのは初めてで、北ひびき農業協同組合様、株式会社道銀地域総合研究所とともに協働でサポートすることにより、地域金融機関として地方創生に向けた具体的な連携・協力を進めてまいります。

記

1. プロジェクトの概要

(1)内容	士別市において地元の農業法人と関係機関を参集し、トヨタ自動車株式会社様のICT営農支援システム「豊作計画」や「カイゼン活動」等を導入することで、営農体系の確立に向けた実証事業を行います。
(2)経緯	当行は、農業分野の課題解決を目的に「自動車事業で培った生産管理手法や工程改善のノウハウを農業生産に応用し、生産性向上に貢献している事業」を行っているトヨタ自動車株式会社様と士別市とのマッチングを実施しました。協議を重ねてきた結果、今般、士別市が地元の農業法人と関係機関を参集し「ICT営農支援システム研究プロジェクト」を立ち上げることとなり、トヨタ自動車株式会社様にとっても、北海道で初めての実証事業を展開することに至りました。

「豊作計画」は、営農に必要な情報（農地、作業（人）、農機、設備など）を一元管理し、これらの情報を組み合わせることで、農地、作業実績、進捗管理、栽培履歴などの確認や報告がスマートフォンやタブレット端末から簡単にできるシステム。

2. 当行の取り組み

当行は、従来より農業を成長分野と捉えて行内に専門部署を設け、各種支援活動を実施しています。平成27年10月に士別市が策定した「士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を念頭に、士別市の指定金融機関として、地域経済の活性化ならびに地域産業の育成に寄与することで、今後も積極的な支援を行ってまいります。

3. 設立総会

(1)日 時 平成28年12月19日（月）15：30

(2)場 所 士別市役所 4階 委員会室

(3)出席者 士別市、トヨタ自動車株式会社、北ひびき農業協同組合、株式会社北海道銀行、株式会社道銀地域総合研究所、北海道（オブザーバー）

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行	アグリシフト推進室	佐藤・常丸	011-233-1066
	地域振興公務部	大田・川原	011-233-1323
	広報CSR室	大海・西東	011-233-1005